

親潮

第 299 号

平成 24 年度 第 1 号

OYASHIO

北水同窓会誌

2012

299

No.1

北水同窓会 <http://hokusui.fish.hokudai.ac.jp>



特集 北水の今

新水産・海洋都市はこだてを支える人材養成

☐ 会員の受賞 ☐ 退職者挨拶 ☐ 総会報告

☐ 寄稿 ☐ クラス会報告 ほか

親潮

第 299 号
平成 24 年度 第 1 号
OYASHIO

CONTENTS

北海道大学ホームカミングデー 2012 のご案内 3

特集 北水の今

新水産・海洋都市
はこだてを支える人材養成 4

会員の受賞 6

吉水 守氏(昭47食) / 桜井 泰憲 教授(昭48ソ) / 三宅 司郎氏(昭57食)

退職者挨拶 8

原 彰彦(昭46ソ) / 阿部周一(昭46ソ)

第92回定期総会報告 9

寄稿 19

高津哲也(昭63キ)

クラス会報告 20

47期(32年卒)同期会・琵琶湖 / 第64期水産食品学科同期会 / 北水同窓会東京支部

著作紹介 22

学位取得者 23

卒業・修了者の就職先 24

会員異動 25

会員死亡通知 26

親潮投稿規定・編集後記 26

お知らせ

第93回(2013年)北水同窓会 定期総会 開催案内(予告)

来年の北水同窓会定期総会は愛知県支部において
2013年5月25(土)の開催予定となりました。
 会員の皆様には是非ご出席くださるようお願い申し
 上げます。
 詳細は追ってお知らせ致します。

申し込み先

- 北水同窓会愛知県支部 支部長 藤井 洋治(昭42キ) / E-mail : UGG43661@nifty.com
 幹事長 神保 重孝(昭54キ) / E-mail : s-jimbo@nagoya-syoji.co.jp
 または ●北水同窓会事務局 / E-mail : hokusui@hotmail.or.jp Tel : 0138-42-3681

北海道大学
ホームカミングデー
2012

—おかえりなさい「エルの森」のキャンパスへ!—

日時：平成24年10月6日(土) 11:00より

会場：北海道大学札幌キャンパス・クラーク会館 他

この催しは、北海道大学を卒業された同窓生の方々が、学部・学科や地域そして年代の枠を超えて
 母校に集い親睦を深めることで、同窓生相互の発展と連帯強化につなげようというものです。

- 11:00——— 歓迎式典
- 11:35——— 記念講演会：鈴木 章 名誉教授
「都ぞ弥生」斉唱 ～フィナーレ
- 12:45—14:00 懇親会
- 14:30——— 各部局等主催行事 ※ 詳細は北海道大学ホームページをご覧ください。



水産学部では、「水産学部卒業生のつどい」と題し、
 学部と北水同窓会の共催で、学術交流会館・小講堂において以下の行事を予定しております。

- 14:30 ~ 15:15 講演会：樋口達夫氏(昭50食)大塚HD代表取締役社長
- 15:30 ~ 16:15 クラシックギター演奏会 演奏者 宮下 祥子氏(平6化)【親潮298号P9参照】
- 17:00 ~ 18:30 懇親会(百年記念会館・キャラ亭、定員120名程度、会費2500円以内)

同窓生お誘い合わせのうえ、是非ご参加下さい。

詳細は近々、北水同窓会HP <http://hokusui.fish.hokudai.ac.jp/> にてご案内いたします。メールマガジンの
会員登録のお願い

不定期配信ですが、北水や同窓会に関する記事
 がメールで送られてきます。ホームページから
 簡単に登録できますので、みなさん、是非登録
 して下さい。

北大OBが生涯使えるメールアドレス
@Frontier(アットフロンティア)のお知らせ

北大では、卒業生向けのインターネットサービスをスタートしました。
 詳しくは「@Frontier(アットフロンティア)」
 (リンク<https://mobile.frontier.hokudai.ac.jp/>)を
 クリックしてください。

新水産・海洋都市 はこだてを支える人材養成

申 東 煥（平13修ゾ）

函館地域は、海に囲まれた自然条件と海洋資源に恵まれており、水産・海洋に関する多くの学術研究機関や関連産業が集積しています。しかし近年、既存の産業が停滞し、第一次産業に携わる生産者も減少しており、地球規模での資源やエネルギー・環境問題なども顕著に現れています。そこで、豊かな函館の海を大切にしながら、海洋資源を有効にかつ持続的に活用できるよう、自治体との連携により科学技術を活用して地域に貢献することの出来る多才な人材の養成が必要であると考えます。

「新水産・海洋都市はこだてを支える人材養成」は、文部科学省科学技術戦略推進費の「地域再生人材創出拠点の形成」プログラムです。全国で行われている53のプログラムの中の1つで、平成21年度から北海道大学の水産科学分野を活かし、函館市との連携により、地域再生の実

現に向け活動する人材（水産・海洋コーディネーター：2年コース、海のサポーター：1年コース）を養成しています。

本事業は、北海道大学の水産科学分野を主体とする高度教育・研究機関が専門性を活かし提供するカリキュラムを、選抜した行政人・企業人を対象として実施するものです。そしてこのカリキュラムを通じ、水産・海洋に関する科学技術や知識を習得することで、企業と学術研究機関等多様な主体を繋ぎ、地域の活性化を実現していくことが出来る人材の養成をします。養成された人材は、函館国際水産・海洋都市推進機構に登録されます。そして彼（彼女）らには様々な事業に参画してもらい、函館国際水産・海洋都市構想の実現に大いに貢献してもらいたいと考えます。



海のものづくりカリキュラム

海の生物をはじめ関連することがらを、さらに価値あるものへ発展させることをテーマとしています。

海のものづくりサイエンス

【レクチャー&ラボワーク】

- 冷たい海的环境
- 魚の性転換技術
- ウロコから目 ～生体修復素材の未来～
- 世界の魚食文化事情
- 震災対応の水産学
- 水産食品とアレルギー

【フィールドワークチャレンジ】

- 水産生物のライフサイクル制御
- 南茅部発のコンブマーケティング

海の価値づくり

【レクチャー&ディスカッション】

- 海に生かすマーケティング論
- 新しい海洋産業と知的財産戦略
- 海の価値づくり実践学習・プロジェクト企画
- 産学官連携
- 函館オリジナル製品が生まれるまで
- 松前漬けとマーケティング

※ 全カリキュラム中の一部抜粋（2012年1月現在）

水産・海洋コーディネーター

選抜された行政人・企業人等が対象で、地域再生の実現のために、水産・海洋科学に関する最新の知見と知財・マーケティング・流通の分野をもとに、これらを広く俯瞰できる能力を習得します。そして産学官連携の潤滑化の促進が可能な人材として養成します。認定した人材は水産・海洋都市構想の取り組みに実質的に関わることを目標とします。平成23年度まで10名が養成され、本プログラムの講師としても活躍しています。

海のサポーター

本プログラムの一部に市民が参加し、水産・海洋科学と市民をつなぐ様々な関連事業で協働できることを活動目標とします。「海のサポーター」は豊かで生き生きとした「新水産・海洋都市はこだてを支える応援団」として期待されます。平成23年度まで58名が養成されました。

カリキュラムについて

【海のものづくりカリキュラム】と【海と人をつなぐカリキュラム】を隔年で実施します。カリキュラムには、講師による講義だけではなく、受講生参加型の実験や実習、受講生と講師の対話により問題解決に取り組む双方向型の演習などが行われます。水産・海洋科学分野に限定することなく、マーケティング論や特許情報、知的財産の活用戦略などについても学びます。

認定について

修了要件を満たし、かつ、到達度評価にて一定以上の成績をおさめることが条件となります。さらに、水産・海洋コーディネーターには、カリキュラム修了時に認定試験として成果発表を課し、その成績を評価の対象とします。

認定後は、北海道大学・函館市より「水産・海洋コーディネーター認定証」または「海のサポーター認定証」が発行されます。



会員の受賞



CONGRATULATIONS ON WINNING

吉水 守氏(昭47食) 平成23年度日本水産学会賞受賞 笠井久会(平12資)

吉水 守氏(昭47食)は、「魚類ウイルス病とその防疫・防除に関する研究」に関する一連の研究が評価され、平成23年度日本水産学会賞を受賞されました。

同氏は、これまで一貫して水圏微生物、特に魚類ウイルスと水棲細菌の研究に取り



組み、1971年にわが国で初めて発生したサケ科魚類の伝染性造血器壊死症の防除・防疫対策の研究を始め、その後の疫学調査で見つかった魚類で最初の発癌性を有するヘルペスウイルス；*Oncorhynchus masou virus*、サケのレオウイルス；*chum salmon virus*、旋回病原性レトロウイルスおよび海産魚、特にヒラメに大きな被害を与えたヒラメラブドウイルスなど、魚類病原ウイルスの病原性や感染機構、宿主の感染防御機構等の基礎的研究を行いました。同時に、増養殖現場の実態に即した飼育用水および排水の殺菌法、病気の早期診断法、病原体の蔓延防止法に関する研究を行い、これらの成果を孵化場および種苗生産

施設での防疫対策としてとりまとめ、①採卵用親魚の健康調査を実施し、群としての感染症発症リスクを把握する。②採卵受精時に卵を洗浄し、ヨード剤で消毒する。③飼育池と隔離した孵化場で卵を管理し、発眼期に再度消毒する。④孵化・飼育用水は湧水か紫外線照射した河川水を使用する。⑤放流魚を除き、病原体に対する抵抗性がついてから養魚池に移す。といった対策を提案・実行し、孵化場および種苗生産施設における大量死防止に大きく貢献しました。さらに、上記の手法で作成された病原体フリー魚は、魚類の感染症や水産増殖、育種、魚類生理等に関する研究の進展を支えることとなりました。魚類の腸内細菌叢に関する研究成果は抗ウイルス活性を有する細菌が水中に広く分布することを見だし、抗ウイルス活性を有する腸内細菌をプロバイオティクスとしたウイルス病の予防に発展させました。

上述の対策は世界的に広く用いられ、仔稚魚期の病気は激減しました。しかし、天然水域、特に養魚池あるいは海面の養殖場に病原体が存在する場合は、種苗への感染が危惧される状況にあります。そこで同氏は試作ワクチンとして不活化ワクチン、組換えタンパク質ワクチン、弱毒生ワクチン、インターフェロン誘導剤併用生ワクチン等の作製あるいは耐病性系統の作出を図りました。さらにワクチン効果を判定するための抗体検出ELISAを確立し、ワクチン接種のための自動注射器を開発しました。

これら魚類ウイルス病とその防除・防除に関する業績は、

国際誌に数多く掲載され、また多くの著書として取りまとめられています。さらに、北海道大学大学院水産科学研究院の教授として、後進の育成にも励むとともに、都道府県の研究者との共同研究も精力的に行ってきました。同氏の目は常に現場に向けられ、増養殖事業の発展の妨げとなるウイルス病に対し並々ならぬ熱意で研究に励む姿勢は称賛に値します。

このように、吉水 守氏の研究は、水産増養殖における重要な課題であったウイルス病の防疫体制の確立に大きく貢献しました。研究蓄積が非常に希薄であったわが国の魚介類のウイルス研究の分野を精力的に切り開いた人物であり、水産学への貢献は極めて大きいものです。



CONGRATULATIONS ON WINNING

桜井 泰憲 教授(昭48ゾ) 環境保全功労者表彰

綿貫 豊 海洋生物資源科学部門准教授(特別会員)

海洋生物資源科学部門教授の桜井泰憲先生(昭48ゾ)が6月29日に、「環境保全功労者表彰」を受賞されました。この賞は昭和51年にもうけられ、環境省部局長の推薦により環境保全の推進のため多年にわたり顕著な功績のあった方に贈られるもので



す。桜井先生は2004年より知床世界自然遺産科学委員会の海域ワーキング座長を務められ、遺産登録のために大きな貢献をされるとともに、漁業者を初めとする関係者間の合意を得た同地域の多利用型統合的の海域管理計画の策定に中心的な役割を果たされました。2005年からは中央環境審議会臨時委員に就任され、漁業と海洋生態系をつなぐ視点から、海洋生物多様性保全戦略の策定や重要海域の抽出に尽力されています。これらの功績によって本賞を受賞されました。受賞をこころからお祝い申し上げます。陸域中心であった環境省の目が沿岸域にもむけられつつあることを強く感じます。



CONGRATULATIONS ON WINNING

三宅 司郎氏(昭57食) 平成22年度日本分析化学会 先端分析技術賞CERI評価技術賞受賞 笠井久会(平12資)

三宅司郎氏(昭57食)は、「モノクローナル抗体を利用した農薬・カビ毒などの低分子性物質の分析手法の開発」に関する一連の研究が評価され、平成22年度日本分析化学会先端分析技術賞CERI評価技術賞を受賞されました。



同氏は、1982年北海道大学水産学部水産食品学科微生物学講座を卒業後、上野製薬株式会社へ入社し、1987年株式会社ヤトロンを経て2000年株式会社堀場製作所、2011年より、財団法人京都高度技術研究所の主幹研究員を務めておられます。1992年大阪大学にて博士号(医学)を取得されました。

三宅氏は博士号取得後一貫して食品や環境分析において重要な有害化学物質の免疫化学測定法開発を行ってきました。特に、ハプテン設計の工夫とモノクローナル抗体選択の際のスクリーニングの工夫により、対象物質との反応性、構造類縁物質との交差反応性、有機溶媒耐性など免疫化学測定に有効な反応特性を示すモノクローナル抗体が調製可能なことを見いだしました。その研究成果を利用して、これまでに21種類の農薬測定用ELISAキットと2種類のカビ毒精製用イムノアフィニティーカラムを製品化しました。これら一連の研究は、食品や環境中の有害化学物質を始め疎水性の低分子性物質の分析に新しい技術を提案するもので、分析化学の発展に大きく寄与するものです。研究成果の実用化を志し、社会貢献を念頭に置かれて研究に励む姿は、北水同窓会の後輩たちの良き見本となるでしょう。三宅氏の研究のさらなる進展が期待されます。

食品工場・厨房内の 自主検査のお手伝いをします。

HACCP・ISO導入指導及び検証・評価・改善指導

- ★食品の微生物検査
- ★施設類・道具・器具類の拭き取り検査
- ★食品の賞味期限の設定
- ★食品・副資材・調理室内の微生物の除殺菌テスト
- ★衛生関係資材の販売
- ★各温度帯における保存テスト
- ★その他衛生指導、社員教育などのご相談をお受けします。

株式会社 キュー・アンド・シー

代表取締役 奥野 和弘 昭和42年製造

松原 伸二 昭和62年化学 久保 雅俊 平成12年資源 中川 恵介 平成23年生命 笹原 麻未 平成23年生命

分析室

〒065-0026 札幌市東区北26条東22丁目6-7 TEL:011-786-8300 FAX:011-786-8266
URL: http://www.qandc-lab.com/ E-mail: haccp@qandc-lab.com

退職者挨拶

北大を去るにあたって

原 彰彦 (昭46ゾ)

昭和46年3月増殖学科浮游生物学講座を卒業し、三重県にある的矢湾養蠯研究所に就職した。初めての「親潮」を受け取ったのはその頃だったと記憶する。大学を離れ、友人たちとも離れ離れになった頃、陸の孤島と言われていた的矢で同窓会誌を受け取ることは一つの楽しみであった。三重県同窓会支部会に故佐藤忠勇先生(大2ヨ)、故福島菊夫氏(昭28ゾ)とともに参加し、参加された先輩から真珠のネクタイピンを頂いたことなど鮮明に思い出される。その後、北大医学部(札幌)、水産庁養殖研究所(三重県)に勤務した後、昭和62年(1987年)5月に母校の附属七飯養魚実習施設に赴任した。あれから25年間お世話になった。七飯の施設は水産学部の中で現存する古い木造の建物であり、懐かしさで訪れていただいた卒業生もかなりいた。現在はまわりのリンゴ畑はなくなったが、戦後からの池は一部きれいになったものの、その面影はかわっていない。

11年程した後、七飯から離れるのは少々寂しい気がしたが、学部改革に伴い港町のキャンパスに新たなLabを立ち上げるようになった。これまで多くの学生らと共に楽しく研究生活を送れたこと、途中入院生活もあったが、無事に定年を迎えられたことは教員や皆様の御かげであると感謝している。

顧みて最も印象的であったのは、学生時代卒論で元田茂教授とおしよ丸Ⅲ世で80日間の北洋航海へ行ったこと、水産学部ならではの良い経験をしたことである。教員になってからも何回か短期ではあるが乗船した。学生とサケの血液の採取、また佐伯総長と室蘭一函館のフレッシュマン航海など楽しい思い出である。定年前、学部長を仰せつかり、ちょうど記念すべき学部創基100周年事業に携わった。横山清北水同窓会会長はじめ多くの同窓生が全国各地から450人以上も参加された。祝賀会会場での「都ぞ弥生」の大合唱は圧巻であった。その後、一部お世話になった先輩へ挨拶に行った時も暖かく迎えていただき同窓の絆を強く感じた。

未だ、名残惜しく大学へ行く機会が多いが、若い先生方が頑張っている姿に接し、水産学部の益々の発展を祈らずにはいられない。本当に長い間有難うございました。



さようなら北大そして函館

阿部周一 (昭46ゾ)

退職後1年間の再任用特任教員の任期も果て、本年3月末日をもって北海道大学を離れました。本来、大学退職時に同窓の皆様には挨拶をすべきところでしたが、1年以上の遅れとなりましたことをこの紙面を借りてお詫び申し上げます。

大学院水産科学研究院・水産学部、そして北水同窓会には、学生、院生(修士)、教員としてお世話になりました。学生当時の北水同窓会に対する思いは今となっては霧の彼方ですが、函館市内の某デパート食堂階を借り切って開かれた同窓会主催の卒業祝賀会だけは唯一はっきりと記憶に残っています。祝賀会では、普段は謹厳実直を絵に描いたような先生方が、講義の時とは違う顔をされて女子卒業生とダンスを楽しまれたりして、非常に華やかな雰囲気でした。40年余り前は、同窓会もまだ豊かだったのでしょうか。低迷する会費納入率や昨今の経済不況もあって、経常的事業も思うに任せない現在の状況とは大分違っていたように思います。同窓会事務局をご担当の先生方にはご苦勞をおかけ致しますが、今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。

4月からは、昨年の巨大地震と大津波により甚大な被害を受けた三陸の水産復興のお手伝いのため、岩手大学三陸復興推進機構の特任教員として盛岡に赴任(単身)しております。歴史も文化も北海道と異なる三陸岩手ですが、幸いにも同窓の方々が多く、しかも水産に係わる産官の主だったポジションに少なからずおられることから、非常に心強いものがあります。一方で、復興の歩みは遅く先が見えない状況の中で、三陸の同窓の方々のご苦勞もひとしおです。北水同窓会の皆様からのお力添えをよすがに、復興がスムーズに進んで行くように微力を尽くすことができれば幸いです。

終わりにになりましたが、創基から2世紀に入った北大水産の教育研究における着実な発展と北水同窓会の益々の隆盛を祈念して、お別れの挨拶とさせていただきます。さようなら北大そして函館。有難うございました。



第92回

北水同窓会定期総会報告

北水同窓会、本部・支部合同総会の報告

●開催日時：平成24年6月30日 ●会場：うおまん 中之島店

北水同窓会大阪府支部は北大会館に事務局を設置し、懇親会を中心にした月例会を毎月第3土曜日17:00から北大会館で開催し、支部活動では、何かと北大関西同窓会、北大関西エルム会の皆様には大変お世話になっております。さて、今年は、2年に1回の支部総会の開催年にあたり、同時に北水同窓会(函館本部)の総会を合同で開催することになりました。この合同総会は、6年前・12年前にも大阪で行われ、今回で3回目の合同総会となります。合同総会は、6月30日15:00から「うおまん中之島店」で行われました。出席者は、来賓6名、支部会友2名、本部役員9名を含めて99名の皆様でした。本部来賓として北大副学長・三上隆氏、支部来賓として、北大関西同窓会会長・遠藤彰三氏、北大エルム会代表理事・日下大器氏、札幌農学校振興会関西支部理事長・和田武夫氏、札幌農学校振興会関西支部理事・天知輝夫氏、北海道大阪事務所所長・宮前賢次氏、支部会友として福井明男氏、近畿農政局・山北隆裕氏の皆様でした。合同総会と言うことで、大阪府支部(奈良県を含む)以外から、兵庫県12名、京滋6名、東京3名、愛知県6名、香川県1名、神奈川県1名の支部の皆様も駆けつけていただきました。

総会は、田中文夫大阪府支部長の開会挨拶から始まり、本部総会司会者の平石副幹事長に引き継がれ本部総会が始まりました。最初に、同窓会名誉会長の嵯峨水産科学研究院長・学部長から挨拶があり、議長は、横山会長が欠席の為、代わりに田中大阪府支部長が選出され、田中議長のもと各議案はすべて承認され無事終了となりました。

引続き北出副支部長の司会により支部総会が行われ、田中支部長挨拶の後、来賓の遠藤北大関西同窓会会長から祝辞を頂きました。その後、議長として田中支部長が選任され、各議案はすべて承認され終了しました。

総会終了後、16:10から講演会が行われ、北出副支部長による演者の野呂氏(朝日新聞論説委員、昭56ギ)の紹介がされました。野呂氏は、取材活動を通じて見聞した貴重な体験をまじえて「内村鑑三と宮沢賢治」という演題で約1時間講演され、我々に新しい視点を提供されました。

講演会終了後には、会場の椅子など整理し記念の集合写真が撮られました。

少しの休憩を挟み、17:15から懇親会が、会場を移し入江の司会のもと始まりました。東京に帰る時間が迫っていた鈴木東京支部長に最初の挨拶をしていただき、その後に来賓の三上北大副学長、宮前北海道大阪事務所所長、日下北大関西エルム会代表理事、和田札幌農学校振興会関西支部理事長の皆様から祝辞を頂きました。次に、藤井支部顧問による乾杯の音頭で飲食開始となりました。9卓の各テーブルで懇親が始まり、暫くしてから、小林京滋支部長、藤井愛知県支部長、小野香川県支部長に挨拶をしていただきました。また、6名もの方が出席された36年製造卒を代表して東京から来られた鈴木氏(北水同窓会副会長)と、出席者の中で最長老の川上氏(昭22セ)にも挨拶をしていただきました。本部からは高橋幹事長より、10月6日に全学の行事として開催する同窓生を対象にした北大ホームカミングデー2012で、水産学部では、学術交流会館・小講堂で講演会・ギター演奏会・懇親会が行われるとの説明があり、多くの同窓生の参加を期待しますとのことでした。

引続き懇談があちこちで続いた後、支部懇親会恒例のビンゴ大会が行われ、清酒を始め北海道にちなんだ賞品が並べられ大いに盛り上がりました。

最後に、支部顧問の大野氏指導の下、参加者全員が輪を作り、ストームの歌・永遠の幸・都ぞ弥生が斉唱されました。また、大野氏による北大、北水同窓会へのエールが行われ、全員熱気のもと懇親会は20:30に終了しました。このように、支部として最大の行事である総会、今回は特にその中でも重要な本部との合同総会が成功裏に終わりましたのも、北大会館に支部事務局を設置し、総会準備の為に北大会館を会議の場として大いに利用させていただいた結果だと感謝しております。我々の支部活動にあって北大会館は無くしてはならない存在であり、今後とも、北大関西同窓会、北大関西エルム会の皆様と共に、より発展してゆきたいと思っております。

北水同窓会大阪府支部 顧問 入江和彦 (昭45ギ)

第92回 北水同窓会定期総会報告

■式次第

平成24年度北水同窓会大阪府支部総会

- 開会の辞……………大阪府支部長 田 中 文 夫 (昭50食)

第1部 定期総会

1. 第92回定期総会

- 開会の辞……………本部副幹事長 平 石 智 徳 (昭51ギ)
- 名誉会長挨拶……………名誉会長 嵯 峨 直 恆 (特 別)
- 議長選出……………大阪府支部長 田 中 文 夫 (昭50食)
- 平成23年度事業経過報告および会計決算報告
- 平成24年度事業計画および予算案
- 閉会の辞……………本部副幹事長 平 石 智 徳 (昭51ギ)

2. 大阪府支部総会

- 開会の辞……………副支部長 北 出 弘 (昭52ギ)
- 支部長挨拶……………支部長 田 中 文 夫 (昭50食)
- 来賓挨拶……………北大関西同窓会会長 遠 藤 彰 三
- 議長選出……………支部長 田 中 文 夫 (昭50食)
- 審議事項
- 閉会の辞……………副支部長 北 出 弘 (昭52ギ)

第2部 講演会

- 演題 私見「内村鑑三と宮沢賢二」 野 呂 雅 之 (昭56ギ)

第3部 懇親会

- 開会挨拶……………司会 入 江 和 彦 (昭45ギ)
- 来賓挨拶……………大阪府支部長 田 中 文 夫 (昭50食)
副学長 三 上 隆
北海道大阪事務所所長 宮 前 賢 次
北大関西エルム会代表幹事 日 下 大 器
札幌農学振興会関西支部理事長 和 田 武 夫
- 乾杯……………藤 井 明 (昭36セ)
- 歓談、ビンゴ大会、斉唱
- 閉会挨拶……………大阪府支部顧問 大 野 正 浩 (昭36セ)



名誉会長挨拶



来賓挨拶



大阪府支部長挨拶



ビンゴ大会



永遠の幸斉唱

■出席者

〈来賓〉

三上 隆	北大副学長(昭49工修)	和田 武夫	札幌農学振興会関西支部理事長(昭40農)
遠藤 彰三	北大関西同窓会会長(昭37工)	宮前 賢次	北海道大阪事務所所長(昭55法)
日下 大器	北大関西エルム会代表幹事(昭37農)	天知 輝夫	札幌農学振興会関西支部(昭38農)

〈支部長〉

鉢木 和三(昭38ゾ)東京
小林 正昌(昭39ゾ)京滋
藤井 洋治(昭42ギ)愛知県

〈支部会友〉

山北 隆裕(近畿農政局)
福井 明男(昭40理・化)

〈北水同窓会本部〉

嵯峨 直恆	名誉会長(特 別)		
高橋是太郎	幹 事 長(昭50食)	岸村 栄毅	編 集 部(昭60化)
平石 智徳	副幹事長(昭51ギ)	丸山 英男	組 織 部(平元化)
向井 徹	庶 務 部(昭61ギ)	今村 央	会 計 部(昭63ゾ)
河合 俊郎	庶 務 部(平12生)	吉水 守	監 事(昭47食)

〈会 員〉

川上 永央(昭22セ)	江島 新(昭46化)	松本たけし(昭54ギ)	中岸 明彦(平元ギ)
小野 知足(昭34ゾ)香川	山仲 春男(昭46食)	神保 重孝(昭54ギ)愛知	大寄 良孝(平元食)
大野 正浩(昭36セ)	西川 一義(昭46ゾ)	近藤 忠裕(昭54化)	岡本 聡(平元化)
藤井 明(昭36セ)	島田 好彦(昭47ギ)	中山 勉(昭54ギ)	松谷 隆昭(平2ギ)
杉浦 佑二(昭36セ)	岡本 洋一(昭48ギ)	中井 義二(昭54ギ)	西川 哲也(平3ゾ)
浅倉 健治(昭36セ)東京	富田 整(昭48化)	殿井 鉄夫(昭55ゾ)	吉村 直孝(平3ゾ)
鈴木 賢一(昭36セ)東京	石田 眞(昭48ギ)	野呂 雅之(昭56ギ)	川邊 一郎(平3ゾ)
深谷 勲(昭36セ)愛知	堀 知寛(昭48化)	佐々木 雅人(昭56化)	阪井 淳(平3ギ)
徳永 徹(昭37セ)	藤田 信良(昭48ギ)	大橋 人司(昭56ギ)	小田 哲也(平4ギ)
福田 義治(昭37セ)	山本由美子(昭50食)神奈川	小山 茂樹(昭56ゾ)	新瀬 幾恵(平7ゾ)
内田 奎司(昭37ギ)愛知	室井 智子(昭50食)	十河 和明(昭56食)	鳥澤 眞介(平7ギ)
三栗 茂(昭39ギ)愛知	田中 文夫(昭50食)	佐藤 信光(昭57化)	堀越 光晴(平8ギ)
今野 英一(昭39ギ)	平野 悟(昭50化)	竹浦 弘和(昭57化)	大西 寛明(平12資)
中野 丘三(昭39ギ)	菊池 卓嗣(昭51食)	堀 直恭(昭58食)	高橋 信之(平12海)
山口 皓(昭44エ)愛知	大村 泰治(昭51食)	堀 清美(昭58食)	藤原 匠逸(平13生)
吉川 圭一(昭44エ)	北出 弘(昭52ギ)	滝澤 和宏(昭60化)神奈川	中村 拓真(平15シ)
入江 和彦(昭45ギ)	津森 滋(昭53ゾ)	竹内 章(昭60化)	占部 正悟(平17資)
上田 稔(昭45化)	石川 佳男(昭53化)	中田 邦彦(昭61食)神奈川	櫻井 遥平(平19生)
浦谷 義博(昭45化)	中 進作(昭53化)	高木 力(平元ギ)	奥野 哲史(平20生)
	金子 哲郎(昭54食)宮城	吉田 幸治(平元ギ)	三枝 武蔵(平21資)



第92回 北水同窓会定期総会報告

■総会次第

1. 開会の辞 副幹事長 平石 智徳(昭51ギ)

2. 名誉会長挨拶 名誉会長 嵯峨 直恆(特別)

3. 議長選出

4. 議案第1号

平成23年度事業経過報告および会計決算報告

(1) 一般経過報告

幹事長 高橋是太郎(昭50食)

(2) 庶務部報告(資料1)

庶務部 河合 俊郎(平12生)

(3) 編集部報告(資料2)

編集部 岸村 栄毅(昭60化)

(4) 組織部報告(資料3)

組織部 丸山 英男(平元化)

(5) 会計部報告(資料4)

会計部 今村 央(昭63ゾ)

(6) 会計監査報告

監事 吉水 守(昭47食)

(7) 東日本大震災義援金報告(資料5)

庶務部 河合 俊郎(平12生)

5. 議案第2号

平成24年度事業計画および予算案

(1) 平成24年度役員改選案(資料6)

庶務部 河合 俊郎(平12生)

(2) 第93回(平成24年度)定期総会開催地(愛知)

について 幹事長 高橋是太郎(昭50食)

(3) 平成22年度予算案

1. 会計部予算案(資料7)

会計部 今村 央(昭63ゾ)

2. 編集部予算案(資料8)

編集部 岸村 栄毅(昭60化)

3. 組織部予算案(資料9)

組織部 丸山 英男(平元化)

6. その他

7. 閉会の辞

副幹事長 平石 智徳(昭51ギ)

■平成23年度 庶務部報告(資料1)

1) 新入会員数

海洋生物科学科 55名

海洋資源科学科 41名

増殖生命科学科 56名

資源機能化学科 57名

海洋生産システム学科 2名

大学院(他大学、他学部出身者)

修士 8名

博士 9名

合計 228名

2) 本年度物故者(平成23年度親潮掲載分)

正・準会員 84名

名誉、特別会員 2名

合計 86名

3) 会員現在数(3月15日現在)

正・準会員総数 14,251名

特別会員数 71名

物故正・準会員数 2,842名

名誉会員数 1名

正・準会員現在数 11,409名

(内準会員数) (20名)

会員数合計 11,481名

4) 新入会員を含めた会員現在数(3月15日現在)

合計 11,709名

■平成23年度 編集部報告(親潮発行)(資料2)

	号数	発行年月日	全頁数	印刷部数	印刷費	摘要
予算	297号	平23年8月末	本誌 32頁 (内カラー6頁)	8,500	1,000,000	※1
	298号	平24年2月末	本誌 32頁 (内カラー6頁)	8,500	1,000,000	※1
	合計		64	17,000	2,000,000	
決算	297号	平23年9月25日	本誌 36頁 (内カラー7頁)	8,500	975,502	※1
	298号	平24年3月5日	本誌カラー 28頁 (内カラー7頁)	8,500	913,027	※1
	合計		64	17,000	1,888,529	

※1 印刷会社：(有)三和印刷
印刷費には別刷り振替用紙代、消費税を含む

■平成23年度 組織部報告(名簿会計)(資料3)

	項目	予算額	決算額	摘要
収入	前年度繰越金 一般会計より繰入金簿 広告料 預金利息	2,434,086 1,200,000 1,500,000	2,434,086 1,200,000 1,075,000 522	名簿積立金
	合計	5,134,086	4,709,608	
支出	名簿印刷費 通信運搬費 振込手数料等 次年度繰越金	3,500,000 280,000 20,000 1,334,086	3,410,400 280,000 20,000 999,208	
	合計	5,134,086	4,709,608	

(繰越金の内訳 銀行預金 999,208円)

■平成23年度 会計部報告(資料4)

1) 平成23年度 一般会計決算報告

	項目	予算額	決算額	摘要
収入	前年度繰越金 会費 親潮 広告料 雑収入	1,126,092 8,000,000 220,000 100,000	1,126,092 8,114,000 200,000 210,368	2,036名
	合計	9,446,092	9,677,460	

第92回 北水同窓会定期総会報告

	項 目	予算額	決算額	摘 要
支 出	親潮印刷費	2,000,000	1,888,529	(資料2) 親潮発送費 2回分含む (大阪)
	通信・運搬費	1,400,000	1,195,755	
	総会旅費	800,000	800,000	
	組織強化費	800,000	676,820	
	備品費	0	0	
	消耗品費	300,000	290,013	
	会議費	0	0	
	替手数料	150,000	163,805	
	事務嘱託	2,200,000	2,239,150	
	備人費	150,000	165,000	
	HP維持費	240,000	240,000	
	雑費	20,000	10,156	
	OA機器整備費	100,000	100,000	
	名簿会計へ	1,200,000	1,200,000	積立 (資料3)
	予備費金	136,092	0	
	次年度繰越金		708,232	
	合 計	9,446,092	9,677,460	

収支差引額(平成24年度に繰越)
708,232円(繰越金の内訳:
銀行預金 669,722円、現金 38,510円)

2)平成23年度 OA機器整備費(積立)決算報告

	項 目	予算額	決算額	摘 要
収 入	前年度繰越金	224,081	224,081	
	一般会計より積立預金利息	100,000	100,000 44	
	合 計	324,081	324,125	
支 出	OA機器整備費		224,090	PC買換、周辺機器購入
	次年度繰越金	324,081	100,035	
	合 計	324,081	324,125	

(繰越金の内訳: ゆうちょ銀行 100,035円)

3)平成23年度 特別会計決算報告

	項 目	予算額	決算額
収 入	前年度繰越金	21,231,589	21,231,589
	ゆうちょ銀行利息 定期預金(マリンバンク)利息		24 8,873
	合 計	21,231,589	21,240,486
支 出	次年度繰越金	21,231,589	21,240,486
	合 計	21,231,589	21,240,486

○平成23年度 特別会計資産内容

項 目	資 産 額
郵便定額貯金1口	7,204,000
ゆうちょ銀行預金	90,098
銀行定期預金 (マリンバンク)2口	13,946,388
合 計	21,240,486

■会計監査報告

北水同窓会の平成23年度における会計監査を実施した結果を下記のとおり報告致します。

記

1. 監査対象期間 自 平成23年3月16日
至 平成24年3月15日
2. 出納簿は、関係書類と対査の結果適正である。
3. 現金及び預貯金は、出納簿に照合し適正である。
以上

平成24年3月21日

監事 増田 宣 春
監事 古 水 守 策

■東日本大震災義援金報告 (資料5)

	項 目	決 算 額	摘 要
収 入	東日本大震災義援金 補助3県合計	3,529,377 70,623	164件、延べ478名
	合 計	3,600,000	
支 出	岩手県支部へ	1,200,000	
	宮城県支部へ	1,200,000	
	福島県支部へ	1,200,000	
	合 計	3,600,000	

■平成24年度 役員改選案

(資料6) [○は新任]

会 長

横 山 清 (昭35エ)

名誉会長

嵯 峨 直 恆 (特 別)

副会長

前 田 辰 昭 (昭26エ)

羽田野 六 男 (ㄥ31セ)

鈴 木 賢 一 (ㄥ36セ)

吉 野 生 壮 (ㄥ37ゾ)

相談役

遠 藤 信 二 (ㄥ13ヨ)

宮 原 九 一 (ㄥ14ギ)

代表理事

○吉 水 守 (ㄥ47食)

学内理事

帰 山 雅 秀 (ㄥ48ゾ)

桜 井 泰 憲 (ㄥ48ゾ)

鈴 木 賢 一 (ㄥ36セ)

吉 野 生 壮 (ㄥ37ゾ)

相談役

遠 藤 信 二 (ㄥ13ヨ)

宮 原 九 一 (ㄥ14ギ)

代表理事

○吉 水 守 (ㄥ47食)

学内理事

帰 山 雅 秀 (ㄥ48ゾ)

桜 井 泰 憲 (ㄥ48ゾ)

今 野 久仁彦 (ㄥ49食)

山 口 秀 一 (ㄥ49ギ)

齊 藤 誠 一 (ㄥ50ギ)

高 橋 是太郎 (ㄥ50食)

板 橋 豊 (ㄥ50化)

門 谷 茂 (ㄥ50化)

飯 田 浩 二 (ㄥ51ギ)

平 石 智 徳 (ㄥ51ギ)

荒 井 克 俊 (ㄥ51ゾ)

中 谷 敏 邦 (ㄥ52ギ)

第92回 北水同窓会定期総会報告

学内理事（つづき）

梶原善之（昭53ギ）
清水晋（ㄱ53ギ）
蛇沼俊二（ㄱ53ギ）
宮澤晴彦（ㄱ53ギ）
山下成治（ㄱ54ギ）
尾島孝男（ㄱ54化）
木村暢夫（ㄱ55ギ）
川合祐史（ㄱ55食）
足立伸次（ㄱ55ゾ）
安井肇（ㄱ55ゾ）
山羽悦郎（ㄱ55ゾ）
工藤勲（ㄱ57化）
関秀司（ㄱ57化）
高木省吾（ㄱ58ギ）
都木靖彰（ㄱ59ゾ）
岸村栄毅（ㄱ60化）
宗原弘幸（ㄱ61修ギ）

○向井徹（ㄱ61ギ）

○亀井佳彦（ㄱ61ギ）

○水田浩之（ㄱ61ゾ）

監事

○矢部衛（ㄱ51ゾ）

増田宣泰（ㄱ51化）

学外理事

長澤正徳（ㄱ24セ）
木村順治（ㄱ26ギ）
山内彬一（ㄱ26ギ）
中村哲也（ㄱ28セ）
寺地潔（ㄱ28ゾ）
大島栄一（ㄱ30エ）
富田幸二（ㄱ30セ）
服部保次郎（ㄱ31エ）
箕田嵩（ㄱ31ゾ）
高野和則（ㄱ32ゾ）
島崎健二（ㄱ33エ）

高島優（昭33エ）

山崎文雄（ㄱ33ゾ）

菊地英樹（ㄱ34エ）

米田義昭（ㄱ34セ）

齊藤勝男（ㄱ34ゾ）

梨本勝昭（ㄱ36ギ）

小祝良介（ㄱ36エ）

大割了（ㄱ37ギ）

繪面良男（ㄱ37セ）

河村章人（ㄱ37ゾ）

古井恒弘（ㄱ37ゾ）

麦谷泰雄（ㄱ37ゾ）

安間元（ㄱ38エ）

西田清義（ㄱ38セ）

天下井清（ㄱ39エ）

菅野泰次（ㄱ39ゾ）

小越征夫（ㄱ40エ）

米田国三郎（ㄱ40エ）

木村昇（ㄱ40セ）

猪上徳雄（ㄱ41セ）

上平幸好（ㄱ41ゾ）

岸本富男（ㄱ42ギ）

山本勝太郎（ㄱ42ギ）

蔵多一哉（ㄱ43化）

池田勉（ㄱ43ゾ）

仲谷一宏（ㄱ43ゾ）

高橋豊美（ㄱ44エ）

工藤昭彦（ㄱ44ゾ）

志賀直信（ㄱ44ゾ）

山内皓平（ㄱ44ゾ）

伊藤悦郎（ㄱ45ギ）

三浦汀介（ㄱ45ギ）

三佐川稔（ㄱ45ギ）

築田満（ㄱ45化）

後藤晃（ㄱ45ゾ）

○阿部周一（ㄱ46ゾ）

○原彰彦（昭46ゾ）

中林重雄（ㄱ47ギ）

目黒敏美（ㄱ47ギ）

近江政斗（ㄱ47食）

黒瀬道則（ㄱ47ゾ）

土谷俊一（ㄱ48ギ）

吉田悟郎（ㄱ48ギ）

坂本幸造（ㄱ48食）

吉田正人（ㄱ48ゾ）

二瓶幹雄（ㄱ50食）

上戸慶一（ㄱ50化）

長谷川栄治（ㄱ52食）

上野孝雄（ㄱ53ギ）

上野久仁夫（ㄱ53化）

備前悟（ㄱ53化）

広崎淳一（ㄱ55ギ）

正木悦郎（ㄱ55ギ）

宮岡秀昌（ㄱ55ゾ）

西川正一（ㄱ56ギ）

種田貴司（ㄱ56食）

藤田公美（ㄱ57ギ）

小林良一（ㄱ57食）

佐藤友則（ㄱ57食）

嶋田隆司（ㄱ57化）

学外幹事

阿部純也（ㄱ58ギ）

横山信一（ㄱ58ギ）

佐藤直孝（ㄱ58食）

吉岡武也（ㄱ60食）

今野伸（ㄱ62食）

宮崎永司（平元ギ）

柳町琢也（ㄱ4化）

○阿部慶太（ㄱ5化）

地方理事

（稚内）風無成一（昭41ギ）

（留萌）祐川正幸（ㄱ48ゾ）

（紋別）片岡靖（ㄱ42ゾ）

（網走）金澤克（ㄱ40セ）

（根室）望月英明（ㄱ30セ）

（厚岸）鈴木一幸（ㄱ60ギ）

（釧路）清水富士雄（ㄱ36エ）

（旭川）斉藤隆司（ㄱ46化）

（十勝）佐藤裕（ㄱ24セ）

（苫小牧）木村実（ㄱ48食）

（室蘭）矢島清孝（ㄱ45食）

（札幌）林和明（ㄱ38ゾ）

（札幌）眞田篤弘（ㄱ43化）

（札幌）村井茂（ㄱ45ゾ）

（小樽）○山本貞夫（ㄱ46化）

（余市）川村一廣（ㄱ33ゾ）

（青森）佐藤立治（ㄱ36エ）

（八戸）○山内寿一（ㄱ40セ）

（秋田）赤間健太郎（ㄱ41ゾ）

（村山）山田彰一（ㄱ40ゾ）

（庄内）村井太郎（ㄱ50ギ）

（盛岡）奥山勇作（ㄱ54ゾ）

（宮古）和田秀雄（ㄱ60ギ）

（釜石）高橋禎（ㄱ56ゾ）

（仙台）○佐藤秀雄（ㄱ42ギ）

（石巻）小池幾世（ㄱ53ギ）

（気仙沼）千葉敏朗（ㄱ46ゾ）

（福島）高越哲男（ㄱ44ゾ）

（茨城）原田和民（ㄱ24教ゾ）

（栃木）大友時夫（ㄱ44ゾ）

（埼玉）吉川晴二（ㄱ41ゾ）

（館山）安田健治（ㄱ56食）

（銚子）山口隆夫（ㄱ53化）

（千葉）佐藤隆義（ㄱ40ゾ）

（東京）鉢木和三（ㄱ38ゾ）

（東京）菊本肇（昭40ギ）

（神奈川）金庭正樹（ㄱ57化）

（三崎）○寺本紀久（ㄱ39セ）

（静岡）三ツ野勝廣（ㄱ44食）

（長野）小野里坦（ㄱ37ゾ）

（新潟）○宮島英雄（ㄱ42ギ）

（富山）宮崎護（ㄱ41セ）

（石川）未定

（福井）国田裕（ㄱ45食）

（愛知）藤井洋治（ㄱ42ギ）

（京都）小林正昌（ㄱ39ゾ）

（滋賀）澤田宣雄（ㄱ57ゾ）

（三重）谷村篤（ㄱ50ゾ）

（大阪）田中文夫（ㄱ50食）

（兵庫）○中岸明彦（平元ギ）

（和歌山）小橋保智（昭32ギ）

（鳥取）山本栄一（ㄱ52ゾ）

（岡山）鈴木伸一（ㄱ50ギ）

（広島）森岡泰啓（ㄱ38ゾ）

（島根）中村幹雄（ㄱ42ゾ）

（関門）萬年信一（ㄱ37エ）

（香川）○小野知足（ㄱ34ゾ）

（愛媛）桑原彰三（ㄱ53ゾ）

（徳島）小黒美樹（ㄱ23セ）

（高知）蒲原幸男（ㄱ49ギ）

（福岡）石尾眞弥（ㄱ19セ）

（佐賀）花城勝也（ㄱ26ギ）

（長崎）○征矢野清（ㄱ61ゾ）

（熊本）安田広光（ㄱ58食）

（大分）武田晴美（ㄱ56ギ）

（宮崎）○児玉康則（ㄱ50ギ）

（鹿児島）松岡達郎（ㄱ52ギ）

（沖縄）西銘史則（ㄱ54修ギ）

（北米地区連絡所・北米エルム会内）

真板洋輔（昭32エ）

平成24年度 本部常任幹事

直通電話番号

市外局番（0138）

幹事長

高橋是太郎（昭50食）40-5560

副幹事長

平石智徳（昭51ギ）40-5586

庶務部

○蛇沼俊二（昭53ギ）40-8838

向井徹（昭61ギ）40-8853

○浦和寛（平3ゾ）40-8859

会計部

木村暢夫（昭55ギ）40-8846

○高津哲也（昭63ギ）40-8822

東藤孝（平2ゾ）40-5615

編集部

○安藤靖浩（昭63化）40-8803

細川雅史（平2食）40-5530

○宮下和士（平3ギ）40-8856

組織部

齊藤誠一（昭50ギ）40-8843

○澤辺智雄（平元食）40-5569

山口篤（平6ゾ）40-5543

事務局

吉田秀美 42-3681

第92回 北水同窓会定期総会報告

■平成24年度 会計部予算案 (資料7)

1)平成23年度 一般会計決算報告

	項 目	予算額	摘 要
収 入	前年度繰越金	708,232	2,000名見込み
	会費	8,000,000	
	親潮広告料	200,000	
	雑収入	100,000	
	合 計	9,008,232	
支 出	親潮印刷費	2,000,000	(資料8) 親潮送金費(2回分)含む 愛知開催※ @20,000円×12回 積立(資料9)
	通信・運搬費	1,300,000	
	総会旅費	800,000	
	組織強化費	700,000	
	備品費	50,000	
	消耗品費	250,000	
	会議費	50,000	
	振替手数料	160,000	
	事務嘱託費	2,250,000	
	備人費	130,000	
	HP維持費	240,000	
	雑費	20,000	
	OA機器整備費	100,000	
	名簿会計へ	700,000	
	予備費	258,232	
	合 計	9,008,232	

※総会補助30万円、本部役員会補助10万円、卒業祝賀会補助10万円を含む。

■平成24年度 編集部予算案

(親潮発行)(資料8)

号数	発行年月日 (締切り)	全 頁 数	印刷 部数	印刷費	摘要
299号	平24年8月末 (7月10日)	本誌 32頁 (内カラー7頁)	8,500	1,000,000	※1
300号	平25年2月末 (1月10日)	本誌 32頁 (内カラー7頁)	8,500	1,000,000	※1
	合 計	64	17,000	2,000,000	

※1 印刷会社:(南三和印刷)
印刷費には別刷り振替用紙代、消費税を含む。

2)平成24年度 OA機器整備費(積立)予算案

	項 目	予算額
収 入	前年度繰越金	100,035
	一般会計より積立	100,000
	合 計	200,035
支 出	次年度繰越金	200,035
	合 計	200,035

3)平成24年度 特別会計予算案

	項 目	予算額
収 入	前年度繰越金	21,240,486
	合 計	21,240,486
支 出	次年度繰越金	21,240,486
	合 計	21,240,486

■平成24年度 組織部予算案

(名簿会計)(資料9)

	項 目	予算額
収 入	前年度繰越金	999,208
	一般会計より繰入※1	700,000
	合 計	1,699,208
支 出	次年度繰越金	1,699,208
	合 計	1,699,208

※1 名簿積立金

寄稿

おしよる丸の毎日をツイッターで発信中

高津 哲也 (昭63ギ)

本学で、附属練習船運営委員会委員長を仰せつかっております。

現在、附属練習船おしよる丸が航海中ほぼ毎日、ツイッターで航海の様子を発信中です。今日の位置や実習での出来事、乗船学生の感想、など140文字の制限内で情報を発信しています。たまに写真も掲載しています。おしよる丸の毎日を共有して、学生時代の航海の思い出をよみがえらせませんか？

<https://twitter.com/> で @oshorohokudai をフォローして下さい。

ツイッターのアカウントがなくても、「おしよる丸 ツイッター」で検索すれば、発信内容が見られます。なおこの情報発信は、実習生の親御さんからの安否確認サービスの一環でもあります。また、Facebookでも発信中です(「おしよる丸 Facebook」を検索)。こちらは不定期ですが写真が豊富です。

<https://twitter.com/> ▶ @oshorohokudai

<http://www.facebook.com/> ▶ おしよる丸



クラス会 報告

47期(32年卒)同期会・琵琶湖

山井 喬 志 (昭32㍺)

と き 2012年5月22～24日

ところ おごと温泉 琵琶湖グランドホテル

今年もまた、関西が桜色に染まる季節がやって来ました。春というには暖かすぎる初夏の陽気の中、はるか遠い青春時代を「北の大地」で、共に学んだ友人たちが、京阪神の水がめ「琵琶湖」に集いました。

湖畔には、子育てに忙しいツバメが頭上を飛びかい、餌をねだるヒナたちのつんざくようなさえずりで賑わう露天風呂に浸かり、日常のしがらみから解放された至福のひとつとき。

世の中は目まぐるしく変わり、時代は容赦なく移り変わりゆくが、変わらないものがあることへの発見との再会。

22日18時、関西の幹事 小橋保智君の司会進行。近年物故者(藤森達夫君 五島富三郎君 田口省三君)に思いをはせ、ご冥福を祈り全員で黙祷。

今回参加出来なかった仲間から寄せられたメッセージの紹介。幹事長・川村康司君の歓迎の挨拶。函館の高野和則君の挨拶・乾杯の音頭で開宴。順次、自己紹介、近況等。ご存じ、びわ湖には北米原産・サンフィッシュ科の「ブルーギル」等ギャング(外来魚)がはびこり、在来の魚介類に取って代わろうとしています。

宴たけなわ、札幌・今井輝君の力強い先導で「都ぞ弥生」が、一さわ高く冴えざえとした夜空にこだまし、次いで横浜・杉田哲夫君の巧リード、慕情あふれる前唄に続き「逍遙歌・星の像に」が広い湖上に延々とひびき渡り、若き日の感激を再現。

23日AM9時、奈良(法隆寺・東大寺)周遊へ出発。昭和ヒトケタ世代は、(太平洋)戦後の学生生活では旅行もままならず、重い腰をあげた老生たちは平成の修学旅行生たちの若い人波にもまれながら、古都・奈良を歩き回り日本の歴史に触れた一日でした。

17時ホテル帰着、暫時休憩。前回(熱海・箱根)幹事、千葉・小泉 守君の乾杯の音頭で2日目開宴。

進行は前夜とほぼ同様、宴半ば次回開催について

提案あり、協議の結果、昨年の3.11「東日本大震災」を身を以て体験した、石巻の石田信正君の復興への力強い精神力に全員でサポートしようと、満場一致、2年後「仙台」に決定。

24日朝食が最後の歓談、夫々が湖上クルーズ、神戸・京都の散策へと、2年後の再会を約して解散。
(2012.5.31)



前列左から

川村康司 今井 輝 上島幸夫 村上 恵
進藤幸太郎

中央左から

小泉 守 窪田光純 高野和則 杉田哲夫
池田正利 増田清岩

後列左から

吉村正昭 石田信正 水野元英 小橋保智
工藤糾夫 山井喬志

第64期 水産食品学科同期会 時を越えた再会、還暦を迎えて

金澤 時 夫 (昭49食)

今年はストレート入学者が還暦を迎えるということで、昭和49年3月25日卒業の第64期水産食品学科同期会をやろうという気運が広がり、有志が世話人と

なり、その準備が始まった。準備は連絡のための平成16年の学部の同窓会からのちの卒業生の所在の確認から始まった。開催地は様々な候補地の中から、交通の便を考え札幌となった。会は平成24年6月16日夕方、京王プラザホテル札幌で開催された。同期39名の内、2名が早逝、4名が連絡先不明ではありましたが、還暦という人生の節目に区切りをつけようと24名が出席する大盛況でした。逝去された大井君と木本君の遺影に黙祷を捧げ開会となりました。参加者には学生時代の自分の写真を一枚持参して、ネームプレートに入れてもらった。卒業以来の再会の参加者もあり、60歳の顔ではお互いに誰が誰だか分からなくなることを憂慮した計らいであった。会場へ出かける前から学生時代を思い浮かべていた参加者は、この学生時代の写真により、「おお、お前か」と38年の時間を越えて、あっという間に打ち解けることができた。また、会では38年を経て初めて明かされた秘話が飛び出すなどあっという間に予定の2時間半の一次会は終わった。幹事会が設定した二次会にはほとんどの人が参加し、さらに楽しい時間を過ごした。永い友として再会を約し、それまで健康に留意し、第二の人生を益々楽しもうということでお開きとなった。

このような楽しい時間を過ごすことができたのも、家族の理解があつてのことです。快く送り出していただきましたご家族に感謝いたします。

北水同窓会東京支部 平成24年度 総会報告

浜 谷 一 郎 (昭51化)

平成24年2月6日(月)18時30分より、銀座ライオン(6F)クラシックホールにて北水同窓会東京支部の総会及び懇親会が開催されました。

会は鉢木和三支部長(昭38㍺)挨拶に続き、細見典男副支部長(昭48食)の元気な祝杯の発声で賑やかに始まりました。

当日は朝からの生憎の雨とインフルエンザ警報の影響で予定をやや下回りましたが100名を超える参加者で会場は例年以上に熱気に溢れていました。

途中、「吾が会社のPRタイム」と称する3社の若手会員による、企業や自分の仕事の紹介が歌やパフォーマンスを交えてパワフルに行われ、大いに会場を沸かせていました。

又、本年の「北水同窓会 定期総会」の開催地の大阪よりも田中文夫支部長(昭50食)も駆けつけ、定期総会の紹介と参加の呼び掛けを行っていました。

最後は参加者全員が肩を組み「水産放浪歌」「都ぞ弥生」の大合唱で最高潮に達したところで、樋口達夫副支部長(昭50食)の中締めの方歳三唱で宴は閉会となりました。

尚、次年度の東京支部定期総会は平成25年2月4日(月)に本年同様、銀座ライオン(6F)クラシックホールにて開催予定で有ります事をこの紙面を借りて報告させていただきます。



第64期 水産食品学科同期会
集合写真

著 作 紹 介

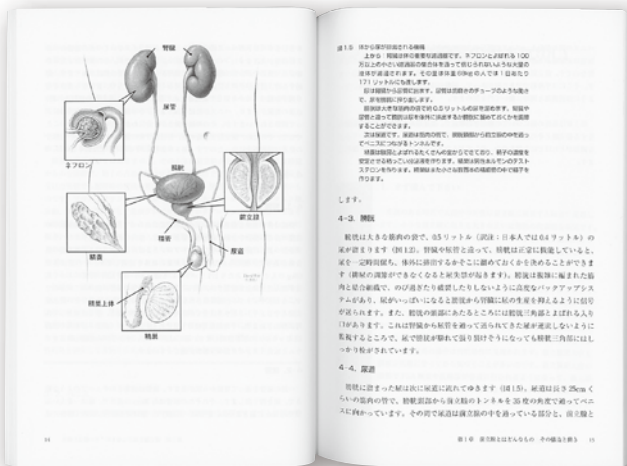
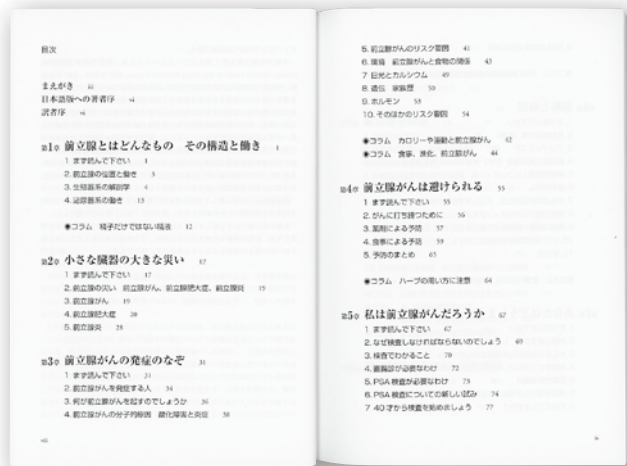
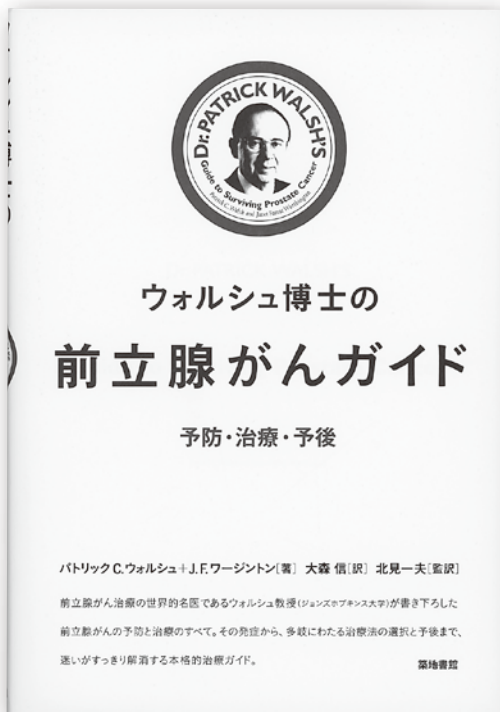
「ウォルシュ博士の前立腺がんガイド」
予防・治療・予後

パトリック C. ウォルシュ、J.F. ワージントン 著
大森 信(昭35ゾ) 訳
北見 一夫 監訳
築地書館 A5版 定価3,780円(本体3,600円+税)

前立腺がん治療の世界的名医であるウォルシュ教授(ジョンズホプキンス大学)が書き下ろした前立腺がんの予防と治療のすべて。その発症から、多岐にわかる治療法の選択と予後まで、迷いがすっきり解消する本格的治療ガイド。

本学OBで、生物海洋学の権威である大森 信氏(昭35ゾ)が翻訳した、一般向け医学解説書。この本の出版に向けて、大森氏は著者と幾度も手紙を交換し、原書を日本語向けに要約しているため、翻訳本にありがちな、読みにくさは一切ない。

前立腺がんは、日本でも男性罹患数が胃がん、肺がんに次ぐ第3位と高く、50歳以上で発症することが多い。このがんが原因となって死亡する割合は少ないが(それでも日本で1万人を超えるが)、適切な予防と早期治療で完全に治療することもできる。前立腺に疑いのある方は、是非読んでみることをおすすめする。



□学位取得者

【平成23年】

田城 文人 Taxonomic Revision of the Lamprologine Fishes of the Genera Julidochromis and Chalinochromis from Lake Tanganyika in East Africa (Perciformes:Cichlidae)
(東アフリカ・タンガニイカ湖産 Lamprologini 族魚類 Julidochromis 属および Chalinochromis 属の分類学的再検討)

塚越 英晴 カジカ種群(小卵型, 中卵型および大卵型)の集団構造と進化史

須田 健太 Phylogenetic relationship of the hexanchiform sharks (Squalomorphii:Hexanchiformes)
(カグラザメ目魚類の系統学的研究)

野呂 忠勝 ホタテガイの養殖管理に関する遺伝生態学的研究

柴 宇 人為催熟ニホンウナギの卵質改善に関する研究

清水 裕 魚卵アレルゲンタンパク質の構造解析および検知法の開発

【平成24年3月】

相田 真希 窒素・炭素安定同位体比を用いた海洋低次生態系食物網の解析

甲本 亮太 秋田県沿岸におけるハタハタ Arctoscopus japonicus の初期生活史に関する研究

ビラスリ ビーラ Comparative anatomy and phylogenetic,systematics of the family Uranoscopidae (Actinopterygii: Perciformes)
(ミシマオコゼ科魚類の比較解剖学および系統分類学に関する研究)

藤原 周 西部北極圏海域における海洋環境変動に対する植物プランクトン群集の応答

ロベルト カルロス Behavioral ecology of the Neptune whelk, Neptunea arthritica (Bernardi, 1857)
ロンバルド ゴンザレス (ヒメエゾボラの行動生態学的研究)

遊佐 貴志 エゾイサザアミ Neomysis mirabilis の生活史と個体群動態

宇治 利樹 海産紅藻スサビノリにおける一過的遺伝子発現系を用いた分子生物学的研究

ウメ アフサリ ジョウラ Mannan-degrading enzymes from the common sea hare, Aplysia kurodai
(アメフラシ Aplysia kurodai のマンナン分解酵素に関する研究)

金 洸佑 Distribution, Structural Analysis, and Biological Activity of Unusual Fatty Acids in Marine Algae
(海藻に存在する希少脂肪酸の分布, 構造, 生物活性に関する研究)

□学位取得者（つづき）

【平成24年3月】

サバロイ　ウイチュウラダ	Biochemical study on denaturation mode of myosin and actin in frozen fillet of catfish Clarias macrocephalus x Clarias gariepinus (ナマズ凍結フィレ中でのミオシンおよびアクチン変性様式に関する生化学的研究)
白川　　北斗	カワヤツメ属幼生の生態系エンジニアとしての機能的役割
ニ　マデ　アイランティ クスマ ウイジャジャーアディ	Health Benefit of Seaweed Antioxidants: Protection against Oxidative Stress in Obesity and Its Impact on Metabolic Syndrome (海藻抗酸化成分の健康への影響：肥満で誘発される酸化ストレスの防御とそのメタボリックシンドロームへの影響)
別府　　史章	フコキサンチンの安全性に関する研究 ― 一般毒性および変異原性評価と生体内脂質代謝への影響について ―
高橋　　正和	茨城県産ヤナギムシガレイの適正管理のための漁業生物学的研究

□平成23年度 卒業・修了者の就職先一覧

学　部

ミヨシ油脂株式会社／日本政策金融公庫／株式会社セイコーマート／オカモトグループ／イオン北海道株式会社
マックスバリュ北海道株式会社／旭化成アマダス株式会社／株式会社映像新社／ケンコーマヨネーズ株式会社
サントリーフーズ株式会社／株式会社ケーニヒスクローネ／石屋製菓株式会社／有楽製菓株式会社／森永乳業株式会社
スターゼン株式会社／株式会社京急油壺マリンパーク／桑野造船株式会社／福井県庁／岩手県庁
ソニーイーエムシーエス株式会社／雪印メグミルク株式会社／地方独立行政法人青森産業技術センター
センコー株式会社／山九株式会社／阪和興業株式会社／三菱商事株式会社／愛知県立豊橋南高等学校
国立大学法人北海道大学／北海道信用漁業協同組合連合会／札幌信用金庫／吉本興業株式会社
株式会社ファイナンシャルブレインシステムズ／NAR地方競馬全国協会／株式会社ニトリ／株式会社ファミリー
小樽市役所／函館市役所／八雲町役場／三笠市役所／東京消防庁／湧別漁業協同組合／小樽水産高等学校
クレードル興農株式会社／岩見沢市役所／北海道漁業信用基金協会／鶴居村／余市町役場／北海道漁業協同組合連合会

修　士

神鋼物流株式会社／タカラバイオ株式会社／大塚製薬株式会社／岩手県立盛岡北高等学校／株式会社愛媛銀行
イオン株式会社／北海紙管株式会社／株式会社ネクスウェイ／富士通エフ・アイ・ピー株式会社／株式会社テーブルマーク
明治飼料株式会社／青葉化成株式会社／竹田食品株式会社／栃木県庁／有限会社北海道種鶏農場
北海道漁業協同組合連合会／ユニバーサル造船株式会社／独立行政法人海洋研究開発機構／北海道漁業信用基金協会
ニチレイロジグループ／アストモスエネルギー株式会社／東洋冷蔵株式会社／大日化成工業株式会社
武田薬品工業株式会社／株式会社コーセー／協和発酵バイオ株式会社／日本ケミカルズ販売株式会社

地方独立行政法人青森産業技術センター／和歌山県農林水産総合技術センター水産試験場

地方独立行政法人北海道立総合研究機関／株式会社イシグロ／株式会社セイコーマート／厚生労働省

株式会社新潟クボタ／富士通株式会社／株式会社DNP情報システム／株式会社ラクス／北海道テレビ放送株式会社

三栄源エフ・エフ・アイ株式会社／森永製菓株式会社／日清食品株式会社／はごろもフーズ株式会社

株式会社極洋／株式会社フレッシュ／キッコーマンソイフーズ株式会社／グリコ乳業株式会社／サンヨー食品株式会社

株式会社ニチレイフーズ／大和製缶株式会社／東洋水産株式会社／株式会社ヤクルト本社／月島食品工業株式会社

サンダイヤ株式会社／キユーピー株式会社／伊那食品工業株式会社／ホクト株式会社／ネスレ日本株式会社

株式会社菊水／株式会社竹田食品／株式会社トーカイ／学習塾あすなろ会株式会社／株式会社モンベル

日東製網株式会社／株式会社ニトリ／株式会社デジサーチアンドアドバタイジング／アース環境サービス株式会社

岸和田市役所／厚岸町役場／札幌市役所／株式会社NTTデータMSE　／日本電産サンキョー株式会社

日本ホワイトファーム株式会社／株式会社川本製作所／株式会社高研／株式会社トピア／三重県漁業協同組合連合会

ホクレン農業協同組合連合会／今治造船株式会社／三洋食品株式会社／株式会社東京めいらく

中島水産株式会社／財団法人食品分析開発センター／株式会社海産物のきむらや

博　士

ケース・ウェスタン・リザーブ大学／独立行政法人海洋研究開発機構／国立ラチャモンコン大学／バングラデシュ政府
秋田県農林水産技術センター／独立行政法人水産総合研究センター／タイ国立科学博物館／独立行政法人国立極地研究所
流体テクノ有限公司／サニーヘルス株式会社／国立大学法人北海道大学

□会員異動

○平成24年3月31日　付

原　　彰彦　水産科学研究院特任教授が任期満了のため退職
阿部　周一　水産科学研究院特任教授が任期満了のため退職

○平成24年4月1日　付

吉水　　守　水産科学研究院前教授が同特任教授に採用
平松　尚志　水産科学研究院助教が同准教授に昇任
藤本　貴史　水産科学研究院准教授に採用
阿部　拓三　水産学部附属練習船おしよ丸一等航海士が同助教に配置換

会員死亡通知

川島利兵衛（特別会員）	平成24年 4 月27日	学内より
窪田 光信（昭17ギ）	平成22年11月 5 日	森 有意(昭19セ)様より
遊佐多津雄（昭17ヨ）	平成23年11月 8 日	ご家族様より
黒川 康彦（昭18ギ）	平成24年 7 月 6 日	香川県支部様より
中野 勳（昭18ヨ）	不明	香川県支部様より
柴田 達郎（昭20セ）	平成23年11月28日	ご家族様より
近藤 卓司（昭23ギ）	平成23年 5 月29日	志田昭八郎(昭24ギ)様より
芳賀 彊（昭23ギ）	平成24年 5 月12日	山形 實(昭23ギ)様より
渡辺 正春（昭23エ）	平成23年11月15日	ご家族様より
中山 芳雄（昭23セ）	平成22年12月 7 日	ご家族様より
長峰 基（昭23セ）	平成24年 1 月12日	ご家族様より
内田 隆三（昭24ギ）	平成22年11月 8 日	志田昭八郎(昭24ギ)様より
菊地 有一（昭24エ）	平成24年 5 月24日	安井敬一(昭24エ)様より
高野 洋蔵（昭24セ）	平成24年 4 月 2 日	北海道新聞より
湊 敦雄（昭24セ）	平成24年 6 月22日	大川昭三(昭24セ)様より
末富 隆（昭25ギ）	平成23年12月	ご家族様より
本間 晃治（昭25セ）	平成23年12月 1 日	ご家族様より
糸井伝之助（昭26セ）	平成24年 4 月15日	穴澤邦雄(昭26セ)様より
伊藤 茂弥（昭28セ）	平成24年 6 月24日	能代正信(昭28セ)様より
藤井 豊（昭28セ）	平成24年 7 月23日	学内より
前田 禮一（昭29ギ）	平成23年11月23日	ご家族様より
勝木 茂（昭31ギ）	平成24年 2 月19日	藤田征晴(昭31ゾ)様より
工藤 孝雄（昭31ギ）	平成22年 9 月12日	ご家族様より
佐々木 甫（昭31ギ）	平成24年 2 月10日	大園雍彦(昭31セ)様より
秦 欽弥（昭31ギ）	平成24年 3 月16日	福井県支部様より
安部川周彦（昭31エ）	平成23年12月26日	吉野秀男(昭31エ)様より
松田 克明（昭36ギ）	平成24年 3 月 3 日	ご家族様より
安田 徹（昭37ゾ）	平成24年 2 月12日	ご家族様より
真田 俊一（昭38ゾ）	平成23年 9 月29日	小樽支部様より
若田部 繁（昭41ギ）	平成23年12月28日	常松秀則(昭41エ)様より
松村 勉（昭41ゾ）	平成24年 1 月	ご家族様より
仲村 俊毅（昭44ギ）	平成24年 4 月12日	横山勝幸(昭44ゾ)様より
千葉 充幸（昭46食）	平成24年 5 月 1 日	ご家族様より
古川 寛道（昭47ギ）	平成24年 1 月19日	ご家族様より
関川あや子（昭49化）	平成20年 5 月21日	品川高儀(昭49化)様より
国廣 靖志（昭52ギ）	平成24年 1 月30日	原 猛也(昭52ギ)様より

親潮投稿規定

【寄稿、支部・会員便り、会員の受賞、ご案内など】

一つの投稿につきA4版・1ページ(2000字程度)までとする。この制限以上の長文あるいは連載を希望される場合は2号分までとする。写真を入れる場合、その分の文字数が減る。また写真はホームページに掲載することもできる。原稿は、同窓会宛のに封書で郵送するか、同窓会メール宛に送付することとする。

【同窓生の声】

同窓会誌に対する意見、感想などについての投稿とする。個人的な連絡は掲載しない。一つの原稿につき300字までとする。同窓会宛のメール（hokusui@hotmail.or.jp）のみ受け付ける。写真は入れられない。

【編集後記】

平成24年度「親潮」第1号（通算299号）をお届けいたします。

本号では、特集として文部科学省の「地域再生人材創出拠点の形成」プログラムによって進められております「新水産・海洋都市はこだてを支える人材養成」事業をご紹介します。

水産学部では、これまでも一般の方を対象とした公開講座や小中高生のための体験授業を行ってきましたが、更に水産都市函館の益々の発展を目指した水産・海洋コーディネーター養成事業です。地域の活性化を担う人材養成を目的とした教育プログラムであるため、行政人や企業人から大変注目されている事業です。また、大阪で開催された第92回北水同窓会の報告も掲載いたしました。出席されなかった皆様は是非とも内容をご確認下さい。

本年度第2号は通算300号目の親潮になります。原稿の締め切りは、平成25年1月10日（必着）とさせていただきます。

寄稿につきましては、郵送もしくは電子メール（hokusui@hotmail.or.jp）にて受付をしております。支部報告や同期会報告、著書の紹介など、ふるってご投稿くださいますようお願いいたします。なお、詳しくは上欄の投稿規定をご参照ください。

（編集幹事/細川雅史 平2食）

地域の活性化のために全身全霊の情熱で取り組みます。

NAKAYAMA MEDICINES CO. LTD



株式会社 **中山薬品商会**

代表取締役 中山 一郎

本社 ☎040-0075 函館市万代町20番10号 PHONE (0138) 40-6275・FAX40-3939
 釧路営業所 ☎084-0903 釧路市昭和町2丁目15番地3 PHONE (0154) 52-4101・FAX52-4103
 札幌出張所 ☎065-0031 札幌市北3条東19丁目6番14号 PHONE (011) 299-5493・FAX299-5493

http://hakonaka.jp

いま豊かな食生活。
見直しましょう魚のある暮らし。

青森市中央卸売市場

中水

青森中央水産株式会社

代表取締役社長 石川 栄一

〒030-0183 青森市卸町1番1号

鮮魚部 TEL 017(738)1281

冷凍部 TEL 017(738)8221

塩干部 TEL 017(738)5511

加工部 TEL 017(738)6581

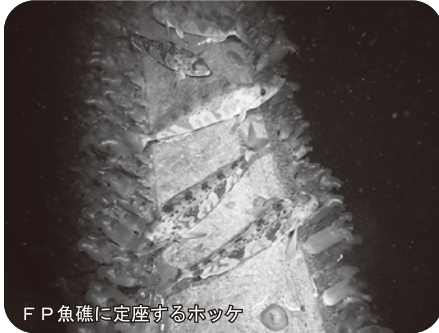
企画部 TEL 017(738)1281

管理部 TEL 017(738)1181

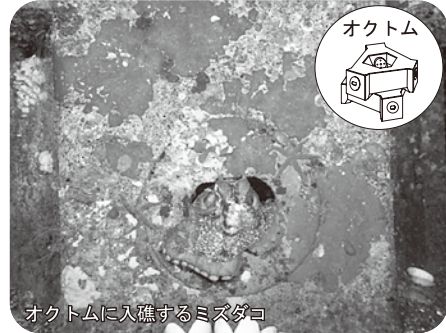
ホームページ <http://www.aochuu.co.jp>



F P 魚礁に集まるホッケ・アイナメ・ソイ類



F P 魚礁に定座するホッケ



オクトムに入礁するミズダコ

海洋土木株式会社

本社 東京都中央区銀座3-9-11

TEL：03-3544-5511 <http://www.kaiyodoboku.com>

代表取締役 鉢木和三（38ゾ）

専務取締役 石井直志（49ゾ）

札幌支店長代理 佐々木洋（53ギ）

札幌支店部長 村井和明（59ゾ）

取締役札幌支店長 川眞田憲治（48修増）

青森営業所長 山口伸治（49化）

技術部次長 日和久典（平6ギ）

玉食竹田

株式会社

竹田食品

代表取締役 竹田 寿広

食卓に函館の味を



本社工場 函館市浅野町3番10号
TEL (0138) 43-1110 (代) FAX (0138) 43-1113

札幌営業所 札幌市中央区北13条西19丁目1番1号（水産保冷配送センター 3F）
TEL (011) 623-0990 FAX (011) 644-9910

竹田食品販売(株) 東京都中央区築地7丁目5番3号（紀文第一ビル2階）
TEL (03) 6226-6820 FAX (03) 3545-2135

竹田食品販売(株) 宮城県仙台市青葉区本町2丁目9番8号（日宝ビル5階3号室）
仙台営業所 TEL (022) 772-1970 FAX (022) 722-1987

竹田食品販売(株) 大阪府大阪市淀川西中島4丁目3番5号（NLCセントラルビル5階）
大阪営業所 TEL (06) 6307-5311 FAX (06) 6307-5358



交通、医療、労働災害事故・会社再建、倒産
サラ金破産、債務整理・個人再生・相続、遺言

相談料は全て無料です

吉原法律事務所

札幌弁護士会 弁護士 吉原美智世
(昭和48年増殖学科卒業)

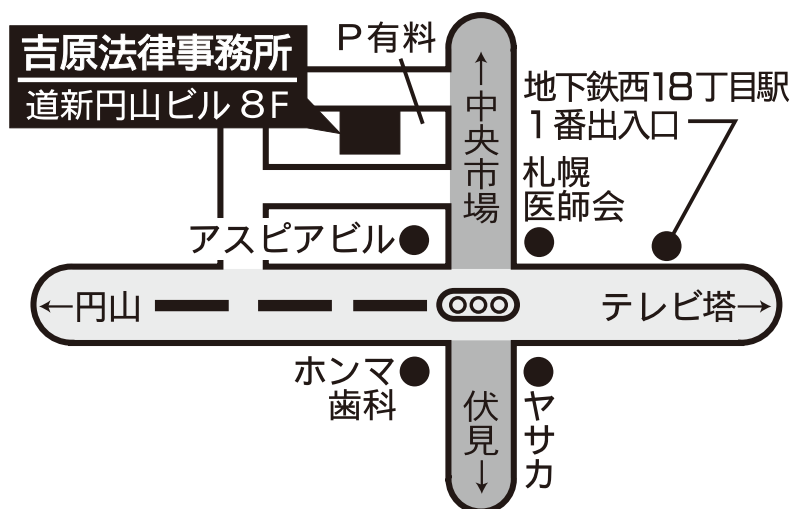
お気軽にお問い合わせ下さい

TEL 622-7963 FAX 622-8414

札幌市中央区大通西20丁目2-20(道新円山ビル8階)

(交通) 東西線西18丁目地下鉄1番出口

(E-mail) lawyer@yoshihara-lawoffice.jp



営業時間においでになれない方はご相談下さい。